

# 大規模災害時応援事業体用マニュアル

横浜市水道局  
令和 8 年 3 月

## 目次

---

第1章	マニュアルの目的	- 1 -
第2章	災害時における横浜市水道局の体制	- 2 -
2-1	水道局本部	- 2 -
2-2	水道事務所班	- 3 -
2-3	幹事応援水道事業体	- 5 -
第3章	応援隊の皆さまが担っていただく役割	- 6 -
3-1	先遣調査隊の皆さま	- 6 -
3-2	日本水道協会による現地調整隊・広域調整隊の皆さま	- 6 -
3-3	幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま	- 7 -
3-4	情報伝達について	- 7 -
第4章	応援隊受入れに当たっての基本事項	- 8 -
4-1	応援隊の参集場所	- 8 -
4-2	到着直後のやりとり	- 8 -
4-3	宿泊施設の確保	- 9 -
4-4	食糧の確保	- 9 -
4-5	事務機器の携行	- 9 -
4-6	活動スペース	- 9 -
4-7	必要となる資機材	- 9 -
4-8	応急活動時に利用できる拠点施設	- 10 -
4-9	車両	- 11 -
4-10	費用負担について	- 11 -
4-11	困ったときの連絡先	- 12 -
第5章	応急給水作業に当たり留意していただく事項	- 13 -
5-1	応急給水活動フロー	- 13 -
5-2	留意点	- 14 -

第6章 応急復旧作業に当たり留意していただく事項 .....	16 -
6-1 応急復旧活動フロー .....	16 -
6-2 主な採用管種 .....	17 -
6-3 留意点 .....	18 -
第7章 応急活動に当たって必要となる資料 .....	22 -
(様式) .....	23 -
派遣-3 応急給水応援体制報告書 .....	24 -
派遣-5 応急復旧応援体制報告書 .....	25 -
給水-3 (1) 応急給水作業指示書 .....	27 -
給水-3 (2) 応急給水作業車両(日報) .....	28 -
給水-5 応急給水活動集計表(日報) .....	29 -
復旧-3 漏水調査作業指示書 .....	30 -
復旧-4 漏水調査及びパトロール報告書 .....	31 -
復旧-6 管路復旧作業指示書 .....	32 -
復旧-7 管路修理報告書 .....	33 -
復旧-8 応急復旧活動対応表 .....	35 -
復旧-9 管路被害算定表 .....	36 -
復旧-10 管路修理集約表 .....	37 -

## 第1章 マニュアルの目的

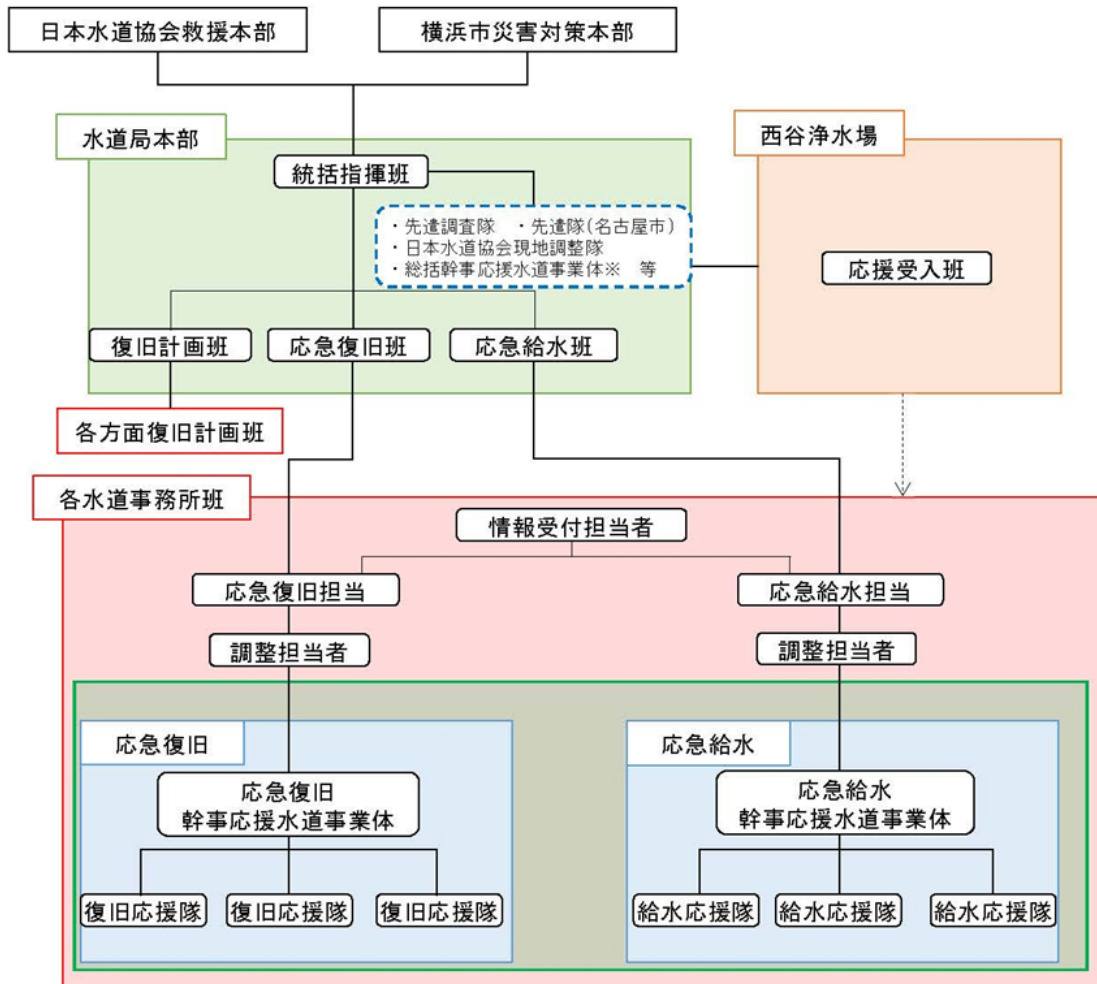
---

横浜市水道局では、大規模災害や水質汚染事故等が発生した時に、公益社団法人日本水道協会が定める「地震等緊急時対応の手引き（令和7年3月改定）」や同協会関東地方支部内の都県支部長都市と締結している「災害時相互応援に関する協定」等に基づいて、他都市の水道事業体に対し、応援要請を行うこととしています。

本マニュアルは、横浜市水道局が、他都市の水道事業体から応急給水及び応急復旧の応援隊を受け入れるに当たり、事前に知っておいていただきたい内容を記し、事前に周知することで、円滑な応急給水・応急復旧等を図ることを目的としています。

## 第2章 災害時における横浜市水道局の体制

災害時において、横浜市水道局が他都市応援隊を受け入れた際の組織体制は、図1のとおりになります。



※被災規模が大きく多数の幹事応援水道事業体が活動する場合等には、別途、応援活動内容の全体調整を担う総括幹事応援水道事業体を設置することも有効である。

図1 受援時の組織体制図

### 2-1 水道局本部

水道局本部は、災害時における応急活動等の基本方針や対応目標、他都市応援隊への応援要請などの決定を行います。水道局の本部体制は、図2のとおりになります。

水道局本部は、水道局の本庁舎（横浜市役所 市庁舎 20階）に設置します。ただし、庁舎の被害状況等から、水道局本庁舎に設置できない場合は、西谷浄水場を代替施設として設置します。（表1）

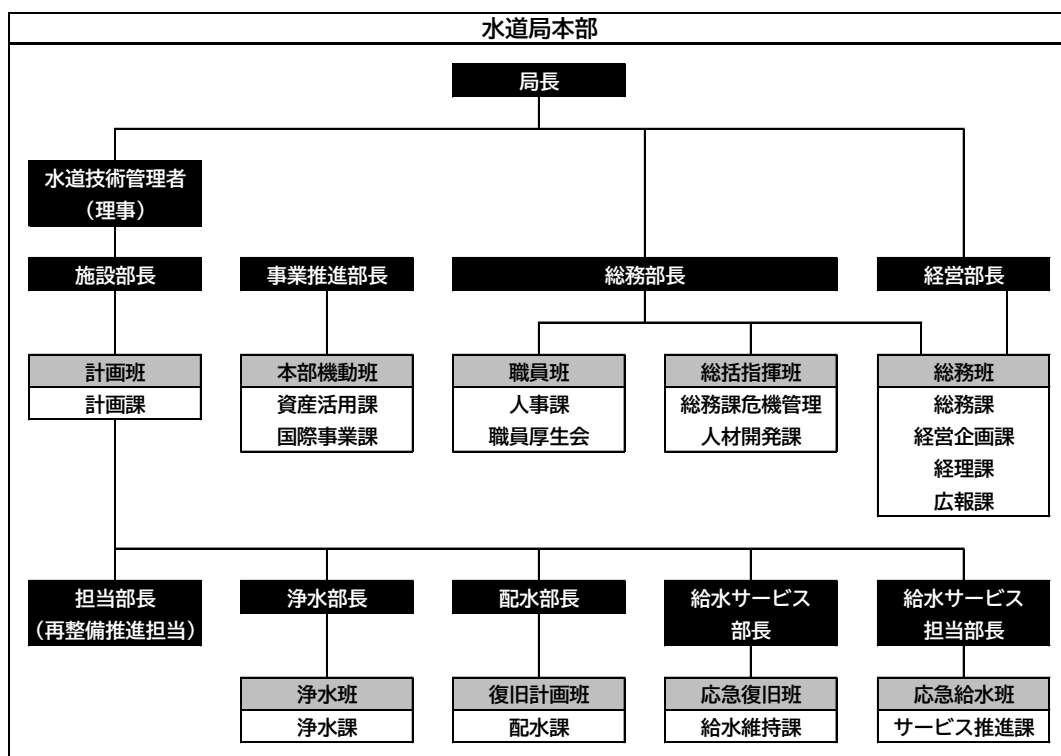


図2 水道局本部の組織体制図

表1 水道局本部を設置する庁舎

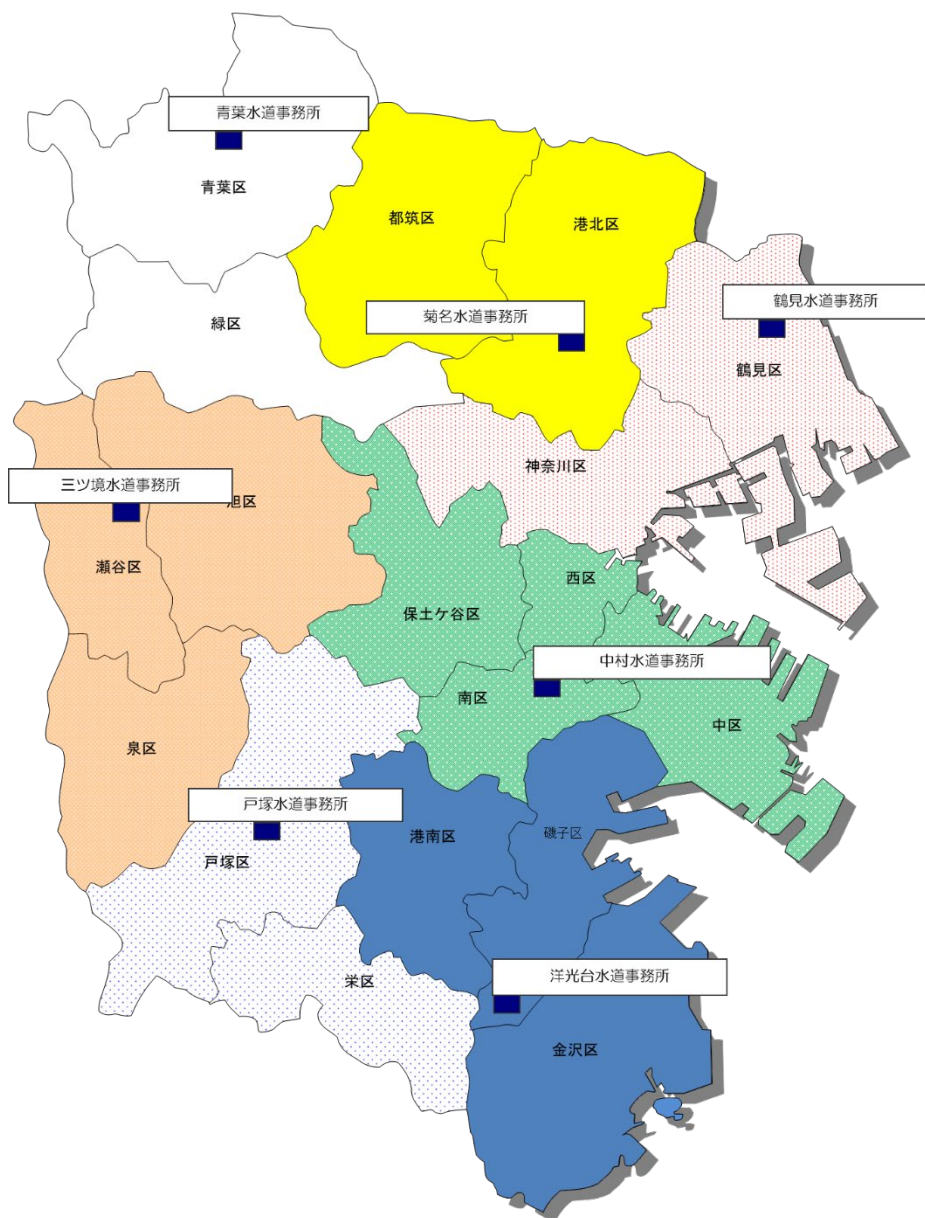
優先順位	設置する庁舎	住所
1	横浜市役所	横浜市中区本町6丁目50-10
2	西谷浄水場	横浜市保土ヶ谷区川島町522

## 2-2 水道事務所班

水道事務所班は、各方面における災害時の活動拠点として設置します。他都市応援隊の皆さまは、各水道事務所班での応援活動をお願いします。

水道事務所班では、被害や災害活動状況の把握など、所管区域内の情報を集約するとともに、水道局本部が決定した応急活動計画に基づき具体的な活動内容（応急給水、応急復旧）を立案し実施します。

なお、市内に水道事務所は7箇所あります。各水道事務所の所管区域については図3のとおりになります。



事務所名	住所	電話番号
菊名水道事務所	横浜市港北区大豆戸町 155 番地	045-531-4181
鶴見水道事務所	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目 4 番 12 号	045-521-2321
三ツ境水道事務所	横浜市瀬谷区二ツ橋町 553 番地	045-363-1541
青葉水道事務所	横浜市青葉区大場町 41 番地 1	045-974-2331
中村水道事務所	横浜市南区中村町 4 丁目 305 番地	045-252-9001
洋光台水道事務所	横浜市磯子区洋光台六丁目 10 番 1 号	045-833-7491
戸塚水道事務所	横浜市戸塚区上倉田町 418 番地	045-871-6461

図3 各水道事務所の所管区域

### 2-3 幹事応援水道事業体

幹事応援水道事業体は、一つの水道事務所に複数の他都市応援隊が入る場合等において、連絡調整を効率的に行うために各水道事務所に設置します。幹事応援水道事業体は、他都市応援隊の職員、その他必要があると認められる者で構成します。

また、被災規模が大きく多数の幹事応援水道事業体が活動する場合等には、別途、応援活動内容の全体調整を担う総括幹事応援水道事業体を設置することも有効であります。

## 第3章 応援隊の皆さまが担っていただく役割

### 3-1 先遣調査隊の皆さま

先遣調査隊は、水道局本部の統括指揮班に合流し、水道局本部等と情報共有を図りながら応援活動を行います。

#### 【先遣調査隊の主な役割】

- ア 被害概況の調査
- イ 応援要請の要否、給水車要請台数に係る決定支援
- ウ 給水箇所、補水地点、参集場所の決定支援
- エ 給水車活動期間の目安の決定支援
- オ 復旧体制の構築
- カ その他必要な事項

### 3-2 日本水道協会による現地調整隊・広域調整隊の皆さま

現地調整隊、広域調整隊は、水道局本部に配置され、応援活動を行います。

現地調整隊は、水道施設の被害概況を把握・集約し、関係者への情報共有を図ることにより、その後の円滑な応援体制の確立に寄与することを目的に活動を行います。

広域調整隊は、水道局本部及び現地調整隊と協力しながら、被災水道事業体、被災地方支部長、被災都府県支部長等と連携を図り、活動を行います。

#### 【現地調整隊の主な役割】

- ア 水道施設の被害概況等の把握・収集※
- イ 被災水道事業体(横浜市)のニーズ等の聞き取り
- ウ 上記に係る日本水道協会救援本部への報告
- エ その他必要な事項

※被災水道事業体（横浜市）における被害状況の調査については、先遣調査隊の役割とする。

#### 【広域調整隊の主な役割】

- ア 現地対策本部※の設置・運営
- イ 被災水道事業体（横浜市）における水道施設の被害状況の全体把握
- ウ 応援要請・活動状況の全体把握と総合調整
- エ 広域的な応援体制の確立に係る諸調整（「応援先の決定」「幹事応援水道事業体の決定」「支援拠点水道事業体等の決定」等に係る補助・調整）
- オ 国土交通省等関係機関との連携（現地活動情報の共有等）

カ その他必要な事項

※複数の地方支部による大規模な応援体制（地域別応急給水・応急復旧パッケージ支援）を円滑かつ効率的に行うため、被災都府県支部長都市等に設置される本部。構成員は、原則として、被災地方支部長都市、被災都府県支部長都市等、応援地方支部（幹事応援水道事業体）、日本水道協会広域調整隊とする。

### 3-3 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

幹事応援水道事業体（応急給水幹事応援水道事業体・応急復旧幹事応援水道事業体）、他都市応援隊（復旧応援隊・給水応援隊）は、各水道事務所班に配置されます。

幹事応援水道事業体は、水道事務所班と情報共有を図るとともに、他都市応援隊を総括します。

他都市応援隊は、幹事応援水道事業体の指示のもと、応急活動に従事します。

#### 【幹事応援水道事業体の主な役割】

- ア 連絡調整員の配備
- イ 水道事務所班との連絡調整及び情報共有
- ウ 応急給水及び応急復旧に係る方針の提案・協議
- エ 他都市応援隊への作業指示及び集約
- オ 他都市応援隊の受入及び交代の管理
- カ 活動報告書の集約及び水道事務所班への活動報告
- キ その他応援活動の実施に当たり必要な事項

#### 【他都市応援隊の主な役割】

- ア 応急活動の実施及び報告書の作成
- イ 幹事応援水道事業体への活動状況報告及び報告書の提出
- ウ その他応援活動の実施に当たり必要な事項

### 3-4 情報伝達について

- 先遣調査隊・現地調整隊は、統括指揮班との密な情報共有をお願いします。
- 広域調整隊は、水道局本部及び現地調整隊との密な情報共有をお願いします。
- 幹事応援水道事業体は、水道事務所班の調整担当者との密な情報共有をお願いします。
- 他都市応援隊は、幹事応援水道事業体との密な情報共有をお願いします。

## 第4章 応援隊受入れに当たっての基本事項

応援隊の皆さまが参集場所に到着して必要となる情報をお伝えします。

### 4-1 応援隊の参集場所

#### ■ 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま

水道局の本庁舎（横浜市役所 市庁舎 20 階）への参集をお願いします。3階の受付カウンターにて入館証を受け取り、20階の水道局までお越しください。

ただし、庁舎の被害状況等から、水道局本部を水道局の本庁舎（横浜市役所 市庁舎 20 階）に設置できない場合は、西谷浄水場を代替施設として設置します。（表 1）

#### ■ 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

第1参集場所に指定している「西谷浄水場」への参集をお願いします。

ただし、道路等の被害が甚大で車両通行が困難な場合などは、第2参集場所として「川井浄水場」への参集をお願いする場合があります。（表 2）

表 2 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の参集場所

参集場所	住所	電話番号
第1順位：西谷浄水場	横浜市保土ヶ谷区川島町 522	045-371-5335
第2順位：川井浄水場	横浜市旭区上川井町 2555	045-921-1174

### 4-2 到着直後のやりとり

#### ■ 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま

水道局本部に配置され、応援活動を開始していただきます。

先遣調査隊に対しては、統括指揮班から主な被害状況や対応状況、依頼事項等の説明を行います。

#### ■ 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま

応援受入班※より、参集場所にて応援隊の皆さまが記入した【応援体制報告書（様式：派遣-3, 5）】に記載してある内容をもとに、責任代表者氏名、連絡方法、準備資機材、採用管種等を確認させていただきます。その後、応援受入班から応援活動拠点（各水道事務所）をお伝えするので、活動拠点となる各水道事務所班（図 2）に移動していただきます。

活動拠点となる各水道事務所班に到着後、【応援体制報告書（様式：派遣-3,

5)】を水道事務所班へ提出して下さい。その後、水道事務所班から、主な被害状況や対応状況等の説明を行い、「応急給水作業指示書」、「応急復旧作業指示書」等により活動内容の指示を行います。また、幹事応援水道事業体には、応急活動マニュアルに基づき作業方法について説明を行います。

※ 応援受入班（施設部技術監理課）は、他都市応援隊の受入に関する調整や参集時の連絡窓口の担当になります。活動連絡先は、「4-10 困ったときの連絡先」を参照して下さい。

#### 4-3 宿泊施設の確保

原則、応援事業体にて宿泊施設を確保するようお願いします。応援事業体による確保が困難な場合には、応援受入班が応援者受入拠点（宿泊場所）を決定し、各水道事務所班が案内します。

#### 4-4 食糧の確保

原則、応援事業体にて食料を確保するようお願いします。応援事業体による確保が困難な場合には、可能な限り水缶、アルファ米等を横浜市水道局（各水道事務所班）において提供します。

#### 4-5 事務機器の携行

パソコンや通信機器などの事務機器は、可能な限り応援隊による自己携行をお願いします。横浜市水道局の通信環境（Wi-Fi、LAN ケーブル）は、横浜市水道局のOA機器のみしか利用できません。ただし、応援期間中に事務機器が急遽必要になった場合には、横浜市水道局において可能な限り提供します。

#### 4-6 活動スペース

- 先遣調査隊・現地調整隊・広域調整隊の皆さま  
水道局本部を設置する庁舎内にて、執務及び車両駐車スペースを確保します。
- 幹事応援水道事業体・他都市応援隊の皆さま  
各水道事務所内にて、執務及び車両駐車スペースを確保します。

#### 4-7 必要となる資機材

応援隊の皆さまにおかれましては、日本水道協会「地震等緊急時対応の手引き（令和7年3月改定）」を参考に、必要となる資機材を持参していただくようお願いします。

なお、応急給水、応急復旧（漏水調査）に必要な器具のうち、不足する資機材については、各水道事務所等から供給、貸出しさせていただきます。

#### 4-8 応急活動時に利用できる拠点施設

##### ■ 応急給水資機材備蓄拠点

応急給水に用いる車載用給水タンク等を市内 13 箇所に分散して備蓄しています。

- ポリ製給水タンク（1000L）約 80 基
- ポリ製給水タンク（300L）約 140 基
- アルミタンク（1800L）18 基

##### ■ 応急復旧資機材備蓄拠点

応急復旧用の水道管は、小口径（300mm 以下）と大口径（400mm 以上）に分類し、市内それぞれ 4 箇所、5 箇所に分散して備蓄しています。

- ダクティル鑄鉄管（口径 100～300mm）約 300 か所復旧分
- ダクティル鑄鉄管（口径 400～1800mm）約 45 か所復旧分



図5 応急活動時に利用できる拠点施設

#### 4-9 車両

被災状況により緊急通行車両以外の一般車両の通行が禁止・制限されることがありますので、事前に各市町村の所管にて緊急通行車両確認証明書及び標章の交付を受け、証明書は車両に備え付け、標章は当該車両の前面の見やすい箇所に掲示してください。

また、ガソリンについては各水道事務所班が、補給場所や補給方法等についてお伝えします。

#### 4-10 費用負担について

費用負担の基本的な考え方は、日本水道協会「地震等緊急時対応の手引き（令和7年3月改定）」に準じ、具体的な費用の負担区分は表3のとおりです。

表3 費用の負担区分一覧

費用	受援水道事業者が負担する費用	応援水道事業者が負担する費用
人件費等	超過勤務手当、深夜勤務手当 特殊勤務手当 管理職員特別勤務手当 旅費(日当含む)	給料 地域手当等基本的な手当
材料費	継ぎ手、直管、異形管 弁栓類、弁きょう、鉄蓋類 等	
工事請負費	工事請負費(材料費、労務費、機械 器具損料、滞在費、諸経費等)	
委託費	委託費(漏水調査業務等)	
車両、機材等の 費用	燃料費(ガソリン、軽油) 修理費 賃借料 輸送料 寒冷地等に必要な装備等(スタッ ドレスタイヤ等の賃借料等)	損料
滞在費用	食料費(弁当等) 宿泊費(仮設ハウス設置費用、ホテ ル等宿泊費)	携行する食料費 携行する寝袋、テント等 被服(防寒服・割当のない職員分・ クリーニング代) 生活用品、その他福利厚生費
その他事務費等	写真代「工事確認用」 作業用消耗品 通信費 消火器 地図 コピー代	写真代「記録・報告・広報用」 その他事務用品
補償関係費用	応援職員の傷病に対する応急的な 処置に係る費用 第三者に対する損害賠償金の負担 「応援作業中の事故等」	応援職員の災害補償費 「出張中の公務災害」 第三者に対する損害賠償金の負担 「往復途上の事故等」

(引用：日本水道協会「地震等緊急時対応の手引き（令和7年3月改定）」)

応援隊の皆さまが応援を行うに当たり特別に費用を要した場合には、その費用は横浜市水道局の負担とするのが基本ですが、その費用については必要最小限となるよう配慮していただくようお願いいたします。

また、地震等緊急時対応は様々な要因に左右されるものであるため、基本的な考え方によらない処理が必要となる場合があります。その際の費用負担は、各事業体及び横浜市水道局の協議により決定するものとします。

#### 4-11 困ったときの連絡先

##### 【発災当初の連絡窓口】

統括指揮班（総務部総務課）

電話 045(671)3106

FAX 045(212)1155

衛星携帯 080-1369-6048

##### 【他都市応援隊参集時の連絡窓口】

応援受入班（施設部技術監理課）

電話 045(331)6677

FAX 045(332)5476

衛星電話 080-8469-4372

## 第5章 応急給水作業に当たり留意していただく事項

---

応急給水活動に関する具体的な内容は、活動拠点（各水道事務所）での説明になりますが、応急給水における活動フロー、留意点について記載します。

### 5-1 応急給水活動フロー

#### I. 【共有】

応急給水班（水道局本部）が作成した応急給水計画が、各水道事務所班（応急給水担当）に共有されます。

#### II. 【活動内容の決定】

水道事務所班と幹事応援水道事業体は、応急給水計画に基づき、所管区域内における他都市応援隊の配置計画及び活動内容について審議を行い、決定していきます。

#### III. 【指示】

幹事応援水道事業体は、他都市応援隊に対して被害状況等の説明を行うとともに、決定した配置計画及び活動内容について指示を行います。

- 【応急給水作業指示書（様式：給水-3(1)）】

#### IV. 【報告書の作成】

他都市応援隊は、活動終了後に活動報告書を作成し、幹事応援水道事業体へ提出します。

- 【応急給水作業車両（日報）（様式：給水-3(2)）】

#### V. 【報告】

幹事応援水道事業体は、他都市応援隊が作成する活動報告書を集約し、水道事務所班へ随時報告を行います。

- 【応急給水活動集計表（日報）（様式：給水-5）】

## 5-2 留意点

### ■ 給水車の取水場所

給水車の取水場所は、基本的に配水池などの災害時給水所、車両給水ステーションを活用していただきますが、交通状況によって使用が困難な場合は、運搬給水先の周辺で運用できる消火栓等も活用いただきます。

### ■ 応急給水場所

地域防災拠点、福祉避難所への運搬給水を優先的に行っていただきます。災害拠点病院・救急告示医療機関に対しては、局職員や管工事協同組合が消火栓から受水槽への給水を行います。ただし、発災初期や消火栓使用不可の場合は運搬給水を行っていただく場合があります。

### ■ 応急給水活動時間

配水池の開設及び運搬給水の時間は、原則9時から17時までとします（作業時間は8時から18時）。ただし、並んでいる人がいる場合は、並んでいる人すべてに給水するか、給水車に積載した水が空になるまで作業を行ってください。

### ■ 応急給水方法

拠点給水は、給水タンク（1800ℓ、1000ℓ（ポリ製）、1000ℓ（組立式）、300）やキャンバス水槽（2000ℓ、1000ℓ）を現地へ設置して、給水車から補給し、応急給水を行います。

### ■ 応急給水施設

横浜市水道局が設置する応急給水施設と、その施設の開設者は 図6 のようになります。





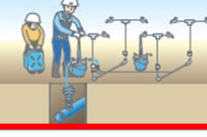



飲料水確保の場所	目印		分類	開設者	開設状況のイメージ	
					発災直後から3日目まで	発災4日目以降
ご家庭 企業	—	備蓄している飲料水	自助	—		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           1人1日            3ℓ×3日分            =9ℓ以上            (できれば            一週間分)を            目標として            備蓄         </div>
災害時給水所	 標識	<b>●災害用地下給水タンク</b> 134基 	共助	地域の 皆さま 横浜市 管工事 協同組合 は開設の 補助		
	 のぼり	<b>●配水池</b> 23か所 ※汐見台配水池を含む 	公助	水道局		
		<b>●緊急給水栓</b> 358基 		水道局 横浜市 管工事 協同組合		
		<b>給水車</b> 		水道局 応援都市 職員		
	 看板	<b>●耐震給水栓</b> 53か所 	共助	開設不要 地域防災 拠点運営 委員等 で運用		

図6 応急給水施設一覧

## 第6章 応急復旧作業に当たり留意していただく事項

応急復旧活動に関する具体的な内容は、活動拠点（各水道事務所）での説明になります。が、応急復旧における活動フロー、留意点について記載します。

### 6-1 応急復旧活動フロー

#### I. 【共有】

復旧計画班及び応急復旧班（共に水道局本部）が作成した応急復旧計画が、各水道事務所班（応急復旧担当）に共有されます。

#### II. 【活動内容の決定】

水道事務所班と幹事応援水道事業体は、応急復旧計画に基づき、所管区域内における他都市応援隊の配置計画及び活動内容について審議を行い、決定していきます。

#### III. 【指示】

幹事応援水道事業体は、他都市応援隊に対して被害状況等の説明を行うとともに、決定した配置計画及び活動内容について指示を行います。

- 【漏水調査作業指示書（様式：復旧-3）】（漏水調査）
- 【管路復旧作業指示書（様式：復旧-6）】（管路修理）

#### IV. 【報告書の作成】

他都市応援隊は、活動終了後に活動報告書を作成し、幹事応援水道事業体へ提出します。

- 【漏水調査及びパトロール報告書（様式：復旧-4）】（漏水調査）
- 【管路修理報告書（様式：復旧-7）】（管路修理）

#### V. 【報告】

幹事応援水道事業体は、他都市応援隊が作成する活動報告書を集約し、水道事務所班へ随時報告を行います。

- 【応急復旧活動対応表（様式：復旧-8）】（漏水調査）
- 【管路被害算定表（様式：復旧-9）】（管路修理）
- 【管路修理集約表（様式：復旧-10）】（管路修理）

## 6-2 主な採用管種

主な採用管種は表4のとおりになります。現在、埋設による布設工事では主な管種として、配水管はダクタイル鋳鉄管（S50形、GX形）、給水管は水道用波状ステンレス鋼管（CSSP）を使用しています。

表4 主な採用管種

### 配水管

管種	継手	口径	名称
DIP	S50形	50	ダクタイル鋳鉄管
	A・K形	75-2600	ダクタイル鋳鉄管
	GX形	75-400	ダクタイル鋳鉄管
	NS形	75-1000	ダクタイル鋳鉄管
	U形	700-2600	ダクタイル鋳鉄管
	UF形	700-2600	ダクタイル鋳鉄管
SP		100-1500	水輸送用塗覆装鋼管
SUS		100-1500	ステンレス鋼管

### 給水管

管種	分岐	口径	名称
SGP-VB		25-	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管
HIVP		25-	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管
SSP		25-	水道用ステンレス鋼管
CSSP		25-	水道用波状ステンレス鋼管
PP		25-	水道用ポリエチレン管

### 【参考】接合方法等について

- ダクタイル鋳鉄管（S50形）

日本ダクタイル鉄管協会ホームページの接合要領書や動画をご確認下さい。

（掲載 URL）

<https://www.jdpa.gr.jp/material/procedure/seismicjoint/index.html>



- 水道用波状ステンレス鋼管（CSSP）

横浜市ホームページの「水道用波状ステンレス鋼管を使用した給水管取付替工事特記仕様書」をご確認下さい。

（掲載 URL）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/youshiki/suidou/dl/tokkisiyousyo.html>



### 6-3 留意点

#### ■ 配水管の修理

復旧に使用する配水管等の資材は原則として横浜市のものを使用しますが、緊急時や材料が不足している等の場合は他都市のものを使用出来るものとします。

その際は、【管路修理報告書（様式：復旧-7）】及び図面に明示して下さい。

#### ■ 給水引込管の修理

配水管分岐部から止水栓までの給水装置の修繕は、横浜市が主として行い、止水栓から民地側の給水装置修理は、使用者が指定給水装置工事事業者に直接依頼し修繕を行うこととします。

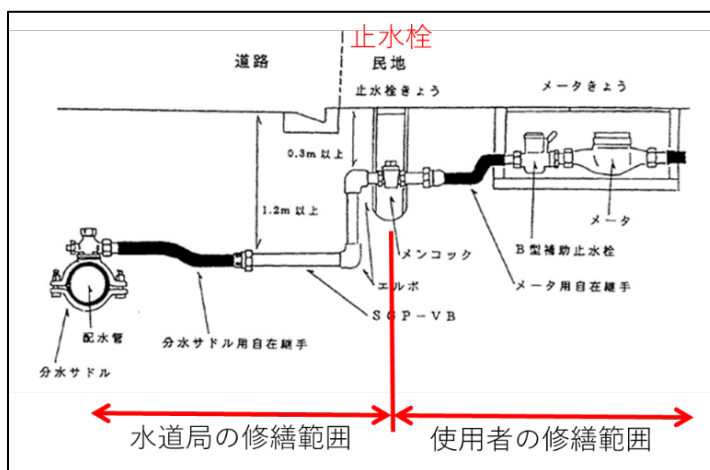


図7 給水引込管の応急復旧工事範囲（例）

#### ■ 栓弁類の操作方法

仕切弁開閉：右回し⇒開、左回し⇒閉

消火栓開閉：右回し⇒開、左回し⇒閉

空気弁開閉：右回し⇒閉、左回し⇒開

（工業用水管付属弁類及び給水管付属止水栓等：右回し⇒閉、左回し⇒開）

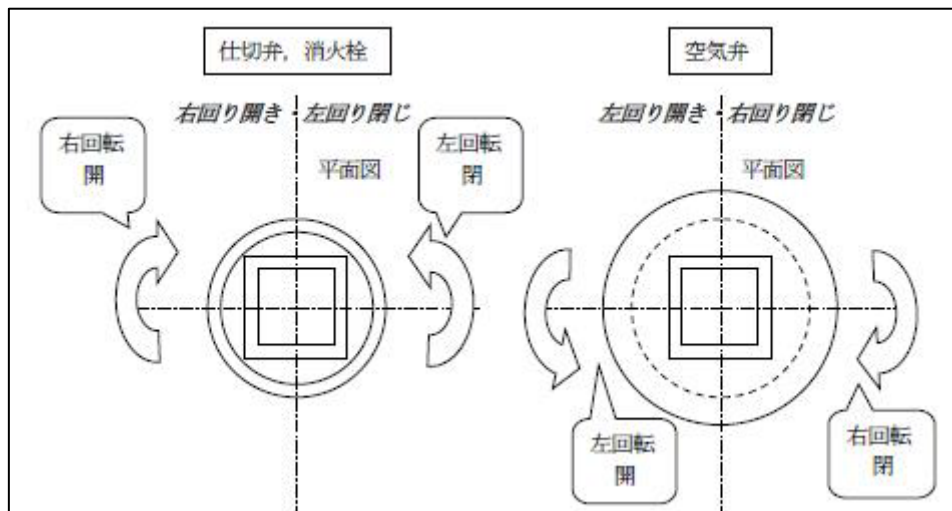


図8 バルブ操作の回転方向

■ 残土仮置場

応急復旧作業で発生した残土は、浄水場（3箇所）や配水池（7箇所）で仮置きができます。

■ 工事写真について

工事写真は、各作業現場の被害状況が分かるよう記録するとともに、着手前、掘削、修理前、修理後、埋戻し工、路盤工、舗装工、完成等の各段階で撮影して下さい。

特に掘削前や管路修理前の被害状況写真（地上漏水、継手の外れやズレ、管体の破損等）は災害査定においてその採否を決定する重要な資料となるため、そのことに十分留意し記録を行うようにして下さい。

写真撮影時には、必ず黒板等を使用して下さい。

【参考】

① 写真撮影に当たっての留意事項

<基本的事項>

- 被害内容(漏水、破損状況等)が確認できること
- 修理内容が確認できること

<留意事項>

- 修理伝票との照合が可能なように一連番号を付ける
- 周辺風景を入れ、修理場所が確認できるように撮影する

- 工法(人力・機械別、使用機材など)が確認できるようにする
- 工事数量(掘削幅・長さ・深さ・舗装形式及び厚さ・延長・口径など)が確認できるように、メジャーやスタッフテープをあてて撮影する
- 工事件名、工種、地先住居表示、撮影年月日、略図、施工者等を記入した黒板等を使用し、文字が読めるように撮影する
- 水管橋等、被害延長が長いものについては、全景の他、適宜被害部分の状況が確認できるものとする

② 写真撮影に必要な機材

- デジタルカメラ、電池、メモリー
- 黒板、チョーク
- スタッフテープ、テープ、ポール、メジャー

■ 配水ブロックについて

漏水調査及び応急復旧は、配水系統に基づくブロック単位とし、復旧状況に応じて他都市応援隊を配置します。

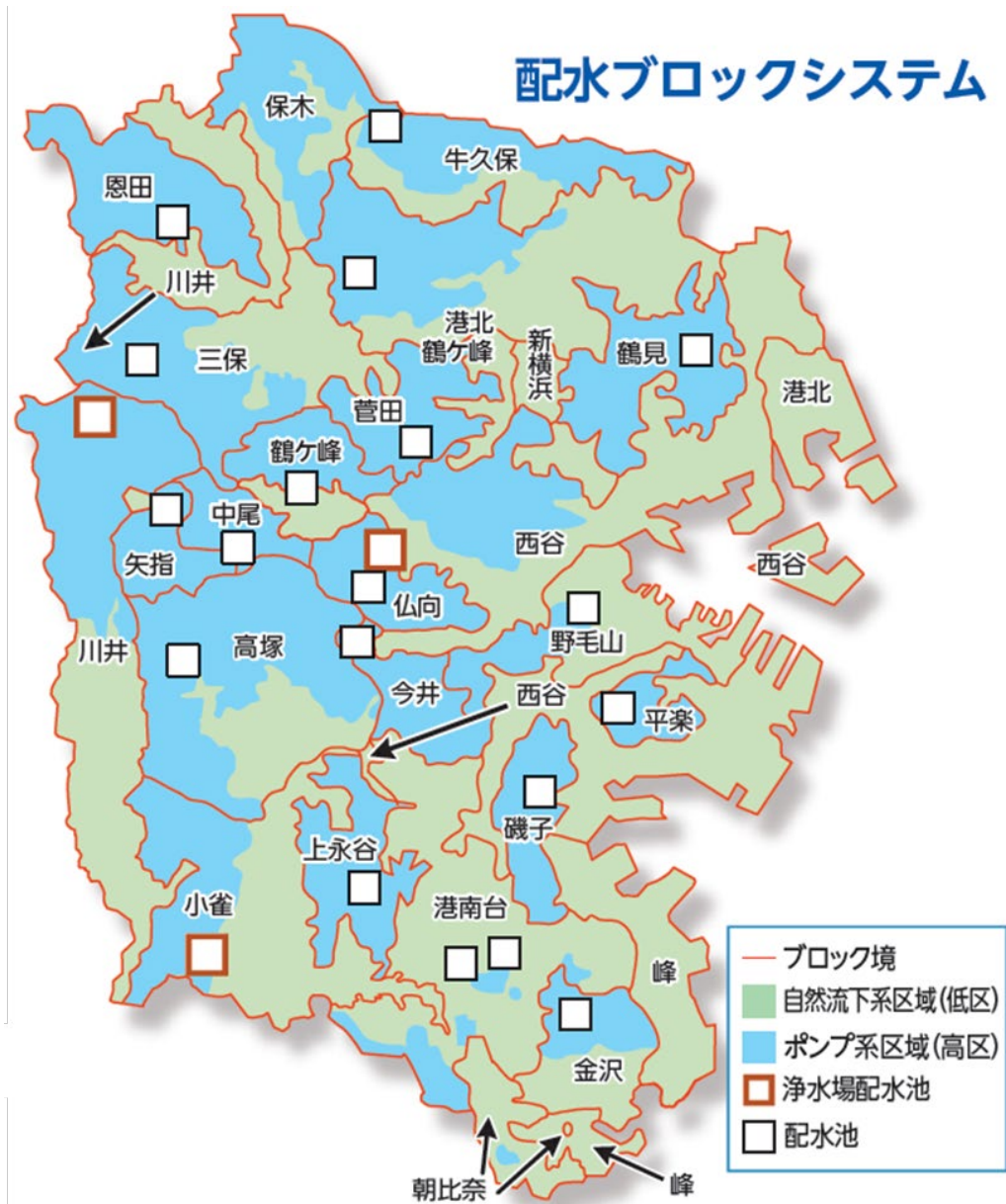


図9 配水ブロック図

## 第7章 応急活動に当たって必要となる資料

応急活動に当たって必要となる各種資料について記載しています。

### ■ 横浜市水道局の事業概要等

横浜市水道局の事業概要については、横浜市ホームページに掲載しています。

(掲載 URL)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/suidoujigyou/jigyogaiyou.html>



### ■ 他都市応援隊への共有資料

他都市応援隊の皆さまには、各水道事務所班から以下の資料等を共有します。

#### 【共有資料一覧】

- (ア) 横浜市水道施設概要図
- (イ) 配水系統(ブロック)図(S=1/30,000)
- (ウ) 行政区配水管系統図(S=1/10,000)
- (エ) 市内配水管図・締切バルブ台帳(S=1/5,000 赤本)
- (オ) 水道配管平面図(S=1/500)
- (カ) 応急復旧優先路線図 (S=FREE)
  - ・配水系統(ブロック)毎に重要施設への管路と仕切弁を明示
  - ・復旧優先順位を明示
- (キ) 住宅地図(S=1/1,500)
- (ク) 重要構造物、管路の完成図及び災害用地下給水タンク関係資料
- (ケ) 各種台帳(バルブ台帳「型式、開閉状況」、水管橋台帳等)
- (コ) 資機材、残土置場等案内図
- (サ) 備蓄材料の概要、置場面積等の明示

## (様式)

### 様式一覧

分類	様式 No.	様式名	備考※
応援隊 受入時	派遣-3	応急給水応援体制報告書	日水協 様式 15
	派遣-5	応急復旧応援体制報告書	日水協 様式 20
応急給水 活動時	給水-3(1)	応急給水作業指示書	日水協 様式 16
	給水-3(2)	応急給水作業車両(日報)	日水協 様式 16
	給水-5	応急給水活動集計表(日報)	日水協 様式 18
応急復旧 活動時	復旧-3	漏水調査作業指示書	-
	復旧-4	漏水調査及びパトロール報告書	日水協 様式 21
	復旧-6	管路復旧作業指示書	-
	復旧-7	管路修理報告書	日水協 様式 23
	復旧-8	応急復旧活動対応表	日水協 様式 22
	復旧-9	管路被害算定表	日水協 様式 25
	復旧-10	管路修理集約表	日水協 様式 24

※「日本水道協会 地震等緊急時対応の手引き(令和7年3月改定)」の様式を基に、一部編集して作成しています。

## 応急給水応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日( ) ~ 月 日( )
-----	-------	------	-----------------

記入上の留意事項	・ 応援班到着時、応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出
----------	--

○応援班連絡先

事業体名		応急給水班数	班
責任者	氏 名： 連絡先電話：	車両総数	台
事務担当者	氏 名：		
給水要員	氏 名：		
給水要員	氏 名：		
給水要員	氏 名：		
	氏 名：		

○応援班構成

人 員	給水用具	車両台数 (タンク容量)	備 考
人			
人			
人			
人			
合 計			
人			

(表)

No. \_\_\_\_\_

## 応急復旧応援体制報告書

作成日	年 月 日	派遣期間	月 日( ) ~ 月 日( )
-----	-------	------	-----------------

記入上の 留意事項	・応援班到着時、及び応援班構成変更時に作成し、 現地の水道給水対策本部に提出する
--------------	---

○応援班連絡先

事業体名		通水及び 漏水調査班数	班
総括責任者	氏 名： 連絡先電話：	応急復旧班数	班

○応援班構成

作業内容	人 員 (人)	持参資機材等	備 考
総括班 (連絡調整)			
総括班 (記録)			
通水及び漏水調査班 (通水及び漏水調査)			
修繕班 (配水管、給水管修理)			
修繕班 (配水管、給水管修理)			
合 計			

(裏)

月 日提出

		応急復旧班	
総 括 班	氏 名	携 帯 電 話 番 号	派 遣 期 間 ( 予 定 )
	( 責 任 者 )		月 日 ( ) ~ 月 日 ( )
通 水 及 び 漏 水 調 査 班	( 責 任 者 )		月 日 ( ) ~ 月 日 ( )
修 理 班 (       )	( 責 任 者 )		月 日 ( ) ~ 月 日 ( )

応急給水班へ  
提出不要

様式16(表)  
(被災水道事業体用)

給水-3(1)

## 応急給水作業指示書

作業日	年 月 日	整理番号	号
班名		記入者	

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両ごとに作成し給水-3(2)と一緒に渡す</li> <li>・作業開始前にコピーを応急給水班に提出</li> <li>●印箇所：作業指示者が記入</li> <li>○印箇所：応急給水隊が記入</li> </ul>
--------------	---

### ●作業指示内容

事業体名等	<input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 応援隊(事業体名等： )
給水車	<input type="checkbox"/> 2t <input type="checkbox"/> 4t <input type="checkbox"/> その他( ) 加圧( <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
車載タンク車	<input type="checkbox"/> 1.8t <input type="checkbox"/> 1t <input type="checkbox"/> 3000 <input type="checkbox"/> その他( )
給水場所	
給水基地	
特記事項	

### ○応急給水隊

事業体名等	<input type="checkbox"/> 横浜市 <input type="checkbox"/> 応援隊(事業体名等： )
責任者	氏 名： 連絡先電話：
作業員数	人 車両ナンバー ー

チェック欄	送信済	(氏名)
	受取済	(氏名)

応急給水作業車両 (日報)

作業日時	年 月 日 時 分	班名	
整理番号	号	メーター距離(終)	km
車両ナンバー	—	メーター距離(始)	km
給油量	リットル	走行距離/日	km

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>時系列順に作業内容を記入</li> <li>作業終了後に給水-3(1)と一緒に指示者に提出</li> </ul>
----------	---

○作業内容 開始時間 終了時間

給水時間又は注水時間	給水場所又は給水基地	注水量	給水量	備考 (対応者記入)
1 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
2 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
3 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
4 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
5 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
6 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
7 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
8 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
9 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
10 : ~ :		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
作業時間合計	時間 分			
給水量合計	m <sup>3</sup>			
注水量合計	m <sup>3</sup>			
特記事項 (給水場所の様子等を記入)				

チェック欄 -28-	送信済	(氏名)
	受取済	(氏名)

応急給水活動集計表 (日報)

作業日	年 月 日 時現在	整理番号	号
-----	--------------	------	---

班 名		作成者	
-----	--	-----	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日の給水作業終了後、作業車両日報【給水－3 (2)】を基に作成</li> <li>・実際の給水活動の集約が目的</li> </ul>
--------------	---

No.	事業体名	給水車 台数	主な給水場所	給水量 (㎡)	備考 (給水車の内訳等を記入)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
計					

チェック欄	送信済	(氏名)
	受取済	(氏名)

## 漏水調査作業指示書

作成日	年 月 日	整理番号	
-----	-------	------	--

記入上の 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧工事ごとに作成</li> <li>・作業開始前にコピーを復旧担当に提出</li> <li>●印箇所:被災事業体復旧担当が記入</li> <li>○印箇所:漏水調査隊(班)が記入</li> </ul>
--------------	---

## ●作業指示内容

事業体名・班名	
復旧場所住所	
位置図	具体的な目標:

## ●作業指示書(復旧担当)

事業体名・班名	
担当者	氏 名: 連絡先電話:

## ○漏水調査隊(漏水調査班)

事業体名・班名		従事職員数	人
連絡責任者	氏 名: 連絡先電話:	車両ナンバー	-

## 漏水調査及びパトロール報告書

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地調査後に記入し、当該水道事務所班に提出。</li> <li>・ 仮配管、バルブ新設等、管路を修理しない復旧工事について備考欄に内容を記載。</li> </ul>
----------	---

整理番号	
調査日時	年 月 日 曜日 時 分
調査担当者 (代表者)	事業体名： 氏名： 電話： - -

場 所					
漏水状況	場所	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 宅地内 ※道路の場合記入（車道・歩道）			
	舗装	<input type="checkbox"/> アスファルト <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂利 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	道路	<input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> 損傷なし <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	漏水	<input type="checkbox"/> 漏水中 <input type="checkbox"/> 漏水痕 <input type="checkbox"/> 修理済み <input type="checkbox"/> その他（ ）			
	漏水量	<input type="checkbox"/> 地上流出（大・中・小）			
漏水確認	残塩	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 給水管（メーター上流） <input type="checkbox"/> 給水管（メーター下流） <input type="checkbox"/> 不明	管種		口径	
修理	必要性	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
	緊急性	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 通常 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> その他（ ）			
備 考	※ 修理者に対して指示がある場合は具体的に記入してください。				

# 管路復旧作業指示書

作成日	年 月 日	整理番号	
-----	-------	------	--

記入上の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧工事ごとに作成</li> <li>・作業開始前にコピーを復旧担当に提出</li> <li>●印箇所:被災事業体復旧担当が記入</li> <li>○印箇所:応急復旧隊(班)が記入</li> </ul>
----------	---

●作業指示内容

事業体名・班名			
復旧場所住所			
漏水状況	区分	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 宅地内	舗装 <input type="checkbox"/> アスコン <input type="checkbox"/> セメコン <input type="checkbox"/> その他 (
	管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 道路部給水管 <input type="checkbox"/>	宅地部 (メーター上流)
位置図	具体的な目標:		

●作業指示書(復旧担当)

事業体名・班名	
担当者	氏 名: 連絡先電話:

○現地応急復旧隊(応急復旧班)

事業体名・班名		従事職員数	人
連絡責任者	氏 名: 連絡先電話:	車両ナンバー	-
施工事業者	社 名: 連絡先:	現場代理人氏名	作業員数: 人 作業車両: 台

# 管路修理報告書

様式23 (表)  
(応援水道事業体用)

記入上の 留意事項	・施工前と施工後の配管図は、可能な限り詳細に記入
--------------	--------------------------

整理番号			
施工期間	年 月 日 曜日 時 分	～	月 日 曜日 時 分
監督者	事業体名・班名：	氏名：	電話： - -
施工業者 (代表者)	施工業者名：	氏名：	電話： - -
場 所			
被害施設	<input type="checkbox"/> 管路 <input type="checkbox"/> 属具 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
修理管路	漏水管路	<input type="checkbox"/> 導水管 <input type="checkbox"/> 送水管 <input type="checkbox"/> 配水管 <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター上流) <input type="checkbox"/> 給水管 (メーター下流)	
	口 径		
	材 質	<input type="checkbox"/> DIP <input type="checkbox"/> CIP <input type="checkbox"/> SP <input type="checkbox"/> VP <input type="checkbox"/> ポリエチレン <input type="checkbox"/> LP <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	継手形式	<input type="checkbox"/> A形 <input type="checkbox"/> K形 <input type="checkbox"/> T形 <input type="checkbox"/> S、SⅡ型 <input type="checkbox"/> NS形 <input type="checkbox"/> KF、UF形 <input type="checkbox"/> フランジ形 <input type="checkbox"/> 溶接 <input type="checkbox"/> ねじ込み <input type="checkbox"/> TS <input type="checkbox"/> 融着 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
属 具	<input type="checkbox"/> 消火栓 <input type="checkbox"/> 空気弁 <input type="checkbox"/> バルブ・止水栓 <input type="checkbox"/> サドル分水栓 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
被害状況	管路	<input type="checkbox"/> タテ割れ <input type="checkbox"/> ヨコ割れ <input type="checkbox"/> 折れ <input type="checkbox"/> 破断 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	継手	<input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> ゴムリング (切断、ズレ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	属具	<input type="checkbox"/> 機能不全 <input type="checkbox"/> 抜け <input type="checkbox"/> 割れ <input type="checkbox"/> 変形 <input type="checkbox"/> ズレ <input type="checkbox"/> その他 ( )	
地盤状況	道路状況	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 陥没 <input type="checkbox"/> 隆起 <input type="checkbox"/> 割裂 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
	クラック幅	<input type="checkbox"/> 管直角 方向 _____ <input type="checkbox"/> 水平 方向 _____ cm (1cm 以上を記入)	
		<input type="checkbox"/> 段差 (沈下 量) _____ cm (漏洩位置から 15m 範囲内 (全体で 30m) )	
	地盤の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 管軸方向 <input type="checkbox"/> 管直角方向 (傾斜角度 = °)	
液状化	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※近くに噴砂跡はあるか	盛土	<input type="checkbox"/>
舗装構成	舗装厚 _____ cm	路盤厚 _____ cm	土被り _____ cm
修理に伴う断水戸数			戸
備 考			

復旧 - 7 (裏)

配管図 (施工前)	位置図 (別紙でも構わない)																																																																
配管図 (施行後)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 15%;">形質</th> <th style="width: 15%;">単位</th> <th style="width: 10%;">数量・確認</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">掘削機</td> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>級</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>級</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">トラック</td> <td style="text-align: center;">10t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2t</td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水替ポンプ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">作業員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">交通整理員</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4 t ユニック</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ジャイアント ブレーカー</td> <td></td> <td style="text-align: center;">H</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">世話役</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">運転工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">人</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">特記事項</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形質	単位	数量・確認	掘削機	m <sup>3</sup> 級	H		m <sup>3</sup> 級	H		トラック	10t	H		4t	H		2t	H		水替ポンプ		式		作業員		人			H		交通整理員		人		4 t ユニック		H		ジャイアント ブレーカー		H		世話役		人		運転工		人										特記事項			
名称	形質	単位	数量・確認																																																														
掘削機	m <sup>3</sup> 級	H																																																															
	m <sup>3</sup> 級	H																																																															
トラック	10t	H																																																															
	4t	H																																																															
	2t	H																																																															
水替ポンプ		式																																																															
作業員		人																																																															
		H																																																															
交通整理員		人																																																															
4 t ユニック		H																																																															
ジャイアント ブレーカー		H																																																															
世話役		人																																																															
運転工		人																																																															
特記事項																																																																	

応急復旧活動対応表

(被災水道事業体用)

活動日	月	日	事業体名・班名
記入責任者	氏名:		連絡先電話:

記入上の留意事項	・当日の受付状態、漏水調査班、管路修理班の動向を把握することが目的 ・PCで管理することで住所検索等が可能となり、重複修理依頼等を防止することが可能
----------	---

整理番号	日時	漏水受付						漏水調査			漏水修理				備考
		事業体名 受付者	市(区)	町	丁目	番地	住宅・地先名	調査日	事業体名・氏名 連絡先電話	修理	依頼日 時間	完了日 時間	事業体名・監督員 連絡先電話	施工業者名・担当者 連絡先電話	
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					
										要・不要					

管路被害算定表(管種・口径・被害形態別)

作成日時	月 日 :	事業体名・班名	
記入者(氏名)		連絡先	
記入上の留意事項	管種・継手形状ごとに集計する。		

管種・継手								
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
口径	25mm以下							
	40mm							
	50mm							
	75mm							
	100mm							
	150mm							
	200mm							
	250mm							
	300mm							
	350mm							
	400mm							
	500mm							
	600mm							
	700mm							
	800mm							
	mm							
	mm							
	mm							
小計(件)								
合計(件)								
管路延長(km)								
被害率件/km								

管種・継手								
被害形態		継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
口径	25mm以下							
	40mm							
	50mm							
	75mm							
	100mm							
	150mm							
	200mm							
	250mm							
	300mm							
	350mm							
	400mm							
	500mm							
	600mm							
	700mm							
	800mm							
	mm							
	mm							
	mm							
小計(件)								
合計(件)								
管路延長(km)								
被害率件/km								

合計	継手抜け	継手漏水	継手破損	管体破損	属具破損	その他	不明
管路延長(km)							
被害率件/km							

